授業科目名	赤 十 字 概 論			担当教員	小川 里美、宇都宮 真由子	
開講年次	1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30 (2)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	赤十字の理念・歴史・活動を人道科学の確立と実践という視点から理解し、国際的視野から今後の課題と展望について理解する。					
到達目標	1. 赤十字の理念および活動の基本原則を説明できる。 2. 国際赤十字および日本赤十字社の成り立ち・使命を説明できる。 3. 世界各地で起こっている人道的危機と赤十字の活動について説明できる。 4. 赤十字の活動の限界と可能性を考察できる					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉の1つであり、国際的な視野を広げ、人間力を涵養することにつながっている。赤十字活動の理念や基本原則の理解は、人間の苦痛を理解する視点でもあり、看護職として人間の尊厳と権利を擁護する力、チームで働く力や行動を考える力を形成する上で重要である。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎		○			
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	赤十字思想の誕生とその背景	講義	(予習) アンリ・デュナンについて調べておく	30分	小川 宇都宮	
2	赤十字の理念について (1)	講義	(復習) 赤十字の理念について調べるとともに映画から人道の意味を考える	60分	小川 宇都宮	
3	赤十字の理念について (2)	講義				
4	赤十字の理念について (3)	講義				
5	人道について考える - グループワーク -	演習 (GW)	(復習・課題) 映画をふまえ、グループで人道の意味を討議し、要点をまとめる	60分	小川 宇都宮	
6	人道について考える - グループワークの発表 -	演習 (発表)		60分		
7	赤十字の基本原則	講義	(予習) 赤十字の基本原則について調べる	60分	小川 宇都宮	
8	国際人道法	講義	(予習) 国際人道法について調べる	60分	小川 宇都宮	
9	国際赤十字のしくみ	講義	(予習) 国際赤十字について調べる	60分	小川 宇都宮	
10	赤十字の国際活動 (赤十字国際委員会)	講義	(予習) 赤十字国際委員会の活動について調べる	60分	小川 宇都宮	

11	赤十字の国際活動（国際赤十字・赤新月社連盟）	講義	(予習) 国際赤十字社・赤新月社連盟の活動について調べる	60分	小川 宇都宮
12	日本赤十字社の創立とその背景、日本赤十字社の活動	講義	(予習) 日本赤十字社創立の経緯や活動を調べる	30分	小川 宇都宮
13	赤十字の活動について考察する －グループワーク－	演習 (GW)	(復習・課題) 赤十字の活動を取り上げ、理念・原則との関連、活動の意義や課題について討議し、まとめる	60分	小川 宇都宮
14	赤十字の活動について考察する －グループワーク－	演習 (GW)		60分	小川 宇都宮
15	赤十字に期待される役割と課題 －グループ発表とフィードバック－	演習 (発表)		60分	小川 宇都宮
先行履修科目					
テキスト	特に指定しない。				
参考文献	日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 平成 28 年度版. 日本赤十字社, 2016. アンリ・デュナン著, 木内利三郎訳：ソルフェリーノの思い出. 日赤出版普及会, 1969. ジャン・ピクテ著, 井上益太郎訳：赤十字の諸原則. 日本赤十字社, 1958. ジャン・ピクテ著, 井上忠男訳：解説赤十字の基本原則—人道機関の理念と行動規範. 東信堂, 2006. 吉川龍子：日赤の創始者佐野常民. 吉川弘文館, 2001. この他、授業中に適宜紹介する。				
評価方法	授業への参加度 10%、プレゼンテーション 40%、課題レポート 50%を総合して評価する。				
教員等の実務経験	赤十字の教育機関で学び赤十字病院で勤務しながら赤十字国際委員会で国際救援活動をしていた教員が、その経験をふまえ赤十字について講義・演習を担当します。				
メッセージ	九州は、日本赤十字社創立に縁の深いところです。本学で看護を学ぶ学生として、創立に寄与した人々が生きた時代や思いに触れ、自分の目指すべき方向を考える力を養ってください。				